◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.338　（2022年度No.16）**　 　2022/4/28

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆



**豊洲の夜景**

**昔はねぇ　晴海橋のたもとでタクシー強盗が怖いからと　降ろされて**

**後は歩くしかなかったらしい**

**選挙の出口調査で「豊洲」が出てきたときはびっくりしたなぁ**

**うちの父ちゃん　お盆に帰ってきたとき　迷うんじゃないか**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-7** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **7-8** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **8-16** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **16-21** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **21-27** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

4月22日　　かわら版337号・かわら版ニュース＆トピックス229号を発行。

4月22日　　ニュースレター225号を発行。

4月25日　　かわら版ニュース＆トピックス230号を発行。

4月28日　　かわら版338号・かわら版ニュース＆トピックス231号を発行。

**■***NEW***令和３年度(第４回)食の安全都民講座（オンライン配信）**

**佐藤先生からいただいた情報です　5/9日まで**

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/forum/tominkoza/tominkozar3-4.html>

　　東京都では、食の安全に関して都民の皆様との情報共有、相互理解を図ることを目的として、「食の安全都民講座」を開催しています。

　今回の講座では、有毒植物を原因とする食中毒の予防について、実際の植物を紹介しながら、見分け方等を東京都薬用植物園の主任研究員が分かりやすく解説します。

　　なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン配信により開催します。ぜひご視聴ください。

　配信内容「これ食べられる？有毒植物の見分け方講座」

導入動画

全国の有毒植物による食中毒発生状況、有毒植物を原因とする食中毒事例

[導入動画](https://tokyodouga.jp/g60r2pngdhi.html)(6分49秒)  
[各論動画（スイセン類）](https://tokyodouga.jp/ljtyxwvffuc.html)(6分43秒)  
[各論動画（バイケイソウ）](https://tokyodouga.jp/hse5bedntxk.html)(7分30秒)  
[各論動画（イヌサフラン）](https://tokyodouga.jp/8v1uyonfxls.html)(9分58秒)  
[各論動画（チョウセンアサガオ類）](https://tokyodouga.jp/luueqwvidas.html)(8分22秒)  
[各論動画（トリカブト類）](https://tokyodouga.jp/7ugqxrn5pzg.html)(16分02秒)

[まとめ動画](https://tokyodouga.jp/f5qillextqk.html)(3分47秒)

注意点のまとめ、参考情報

配信期間（動画、資料等公開期間）

令和４年３月１日（火曜日）午後２時から令和４年５月９日（月曜日）まで

視聴方法

次のサイトから動画を視聴できます。（東京都公式動画チャンネル）

申込は不要で、無料（※）でご覧いただけます。

※ご視聴に係る通信費は、視聴者様のご負担となります。

参考資料

[パンフレット「身近にある有毒植物」](https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/forum/tominkoza/yuudoku-leaf.pdf)　（PDF　 12.7MB）  
[リーフレット「家庭園芸、ちょっとした注意で楽しく安全に」](https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/forum/tominkoza/yuudoku-leaf2.pdf)　（PDF　 1.0MB）

関連リンク

* [東京都薬用植物園](https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/lb_iyaku/plant/)
* [山菜と間違えやすい有毒植物の見分け方（東京都薬用植物園）](https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/lb_iyaku/plant/yudoku-top/)
* [間違えやすい有毒植物（東京都福祉保健局「食品衛生の窓」）](https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/dokusou/index.html)
* [自然毒のリスクプロファイル（厚生労働省）](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人)  
<https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***令和４年４月13日　第78回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和４年度第１回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2022/4/27**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25259.html>

**■***NEW***小児の原因不明の急性肝炎について　2022/4/25**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25423.html>

　　世界保健機関（WHO）の報告によると、４月21日現在、12カ国で少なくとも169例（死亡１名）の小児における病因不明の急性肝炎が継続して報告されています。うち、74例でアデノウイルスが検出されていますが、原因ウイルス等については不明であるとされています。また、小児における急性肝炎が実際に増加しているのかについても、不明であるとしています。WHOでは、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

　厚生労働省ではこうした事案について、令和４年４月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼の事務連絡を発出しているところです。

　今般、WHOが作成した暫定的な症例定義（※）の２「可能性例」に該当する入院症例が１件発生した旨の連絡がありましたので、別添のとおり、公表します。今後、定期的に症例報告の状況をとりまとめて公表していきます。

　厚生労働省としては、引き続き、各国政府やＷＨＯ、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

　報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ WHOは４月23日に以下の暫定的な症例定義(working case definition)を定めている。

１ 確定例(confirmed): 現時点ではなし。

２ 可能性例(probable): 2021年1月1日以降、アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)またはアラニントランスアミナーゼ（ALT）が500 IU/Lを超える急性肝炎(A型～E型肝炎を除く\*)を呈する16歳以下の小児

３ 疫学的関連例(epi-linked): 2021年1月1日以降の確定症例（４月22日以前）の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎(A型～E型肝炎を除く\*)を呈する者

＊肝炎ウイルスA-Eの結果待ちで上記定義に合致する場合は、“分類待ち”として報告可能。

小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年4月25日報道発表）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000933314.pdf>

関連情報

その他の感染症（13　欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎について）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■***NEW***第31回　食品衛生管理に関する技術検討会 資料　2022/4/25**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25395.html>

　議事次第

１．開会

２．議題

１）食品等事業者団体が策定した衛生管理計画手引書案の確認

　　　（サテライトキッチンにおけるＨＡＣＣＰの考え方を取り入れた衛生管理の手引書）

２） その他

３．閉会

資料

配布資料

議事次第・参加者名簿

<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000932912.pdf>

資料　サテライトキッチンにおけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理の手引書（案）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000932913.pdf>

参考資料

参考資料１　食品衛生管理に関する技術検討会 開催要領（令和３年４月22日改正）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000932915.pdf>

参考資料２　食品等事業者団体による衛生管理計画手引書策定のためのガイダンス（第４版）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000932916.pdf>

**■***NEW***薬生食監発0420第１号　令和４年４月２０日**

**以下3点佐藤先生からいただいた情報です**

**食品衛生法等に基づく処分の理由の提示について**<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T220421I0010.pdf>

**■***NEW***薬生食監発 0329 第１号　平 成 3 0 年 ３ 月 2 9 日食品衛生法等に基づく処分の理由の提示について**<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzenbu/0000200840.pdf>

**■***NEW***食品衛生法等に基づく処分の理由の提示について通知されました。（2018.03.29）**

**掲載日： 2018年05月21日　フーズチャネル**

<https://www.foods-ch.com/anzen/news_00253/>

**■「第２回　清涼飲料水に係るＨＡＣＣＰ等に基づく衛生管理に関する評価検討会」を開催します（開催案内）　2022/4/18**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25132.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２８５報）　2022/4/27**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25310.html>

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限又は摂取制限の解除　2022/4/26**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25414.html>

　　本日、原子力災害対策本部は、以下について、原子力災害対策特別措置法に基づく出荷制限又は摂取制限（以下、「出荷制限等」）の解除を指示しました。

（１）福島県双葉町ふたばまち（平成29年9月15日付け認定により設定された特定復興再生拠点区域に限る。）において産出された非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類及びカブ

（２）福島県葛尾村かつらおむら（平成30年5月11日付け認定により設定された特定復興再生拠点区域に限る。）において産出された非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類及びカブ

１　福島県に対して指示されていた出荷制限等のうち、双葉町（平成29年9月15日付け認定により設定された特定復興再生拠点区域に限る。）及び葛尾村（平成30年5月11日付け認定により設定された特定復興再生拠点区域に限る。）において産出された非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類及びカブについて、本日、出荷制限等が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から福島県への指示は別添１のとおりです。

（２）福島県の申請は、別添２及び別添３のとおりです。

２　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限等の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】 原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和４年３月30日）

[（別添１）（PDF:173KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000933320.pdf)  
[（別添２）（PDF:666MB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000933440.pdf)  
[（別添３）（PDF:937KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000933442.pdf)  
[（参考資料）（PDF:1MB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000933747.pdf)

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２８４報）　2022/4/21**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25068.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.8/ 2022（2022.04.13）　2022/4/13**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202208m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202208m.pdf%20)

**目次**

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）が乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバクター（Cronobacter sakazakii）感染に関する苦情を調査（2022 年 3 月 31 日付更新情

報）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. カナダのブリティッシュ・コロンビア州産の生牡蠣に関連して複数州にわたり発生しているノロウイルス感染アウトブレイク（2022 年 4 月 6 日付更新情報）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 公衆衛生通知：ブリティッシュ・コロンビア州産の生牡蠣に関連して複数州にわたり発生しているノロウイルス感染と胃腸疾患のアウトブレイク（2022 年 4 月 8 日付更新情報、3 月 31 日付初発情報）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food　and Feed）

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. 燻製魚に関連して発生しているリステリア（Listeria monocytogenes）感染アウトブレイク

2. サルモネラ感染アウトブレイクに関連している Kinder ブランド製品（チョコレート製品）を喫食しないよう英国食品基準庁（UK FSA）およびスコットランド食品基準庁（FSS）が予防措置として消費者に注意喚起

3. 食品に関する消費者調査「Food and You 2」の最新の結果を発表：消費者の食品供給チェーンへの信頼度は依然として高い

**【スコットランド食品基準庁（FSS）】**

1. 狩猟動物肉に関するガイドと HACCP（危害分析重要管理点方式）

**【アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland）】**

1. サルモネラ（Salmonella Typhimurium）感染アウトブレイクに関連して Ferrero 社製の Kinder ブランドのチョコレート製品を回収

**【アイルランド食品安全局（FSAI）】**

1. Ferrero 社が Kinder ブランドのチョコレート製品の回収対象を拡大（2022 年 4 月 6 　日付更新情報）

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. カンピロバクター感染予防のためのリーフレットを発行

**【ProMED-mail】**

**食品安全情報（微生物）No.8 / 2022（2022.04.13）**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（13）（12）（11）（10）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.8/ 2022（2022.04.13）　2022/4/13**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202208c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202208c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【FSA】 FSA と FSS は食品供給の混乱を避けるための食品原料の代用について消費者へ助言**

英国食品基準庁（FSA）とスコットランド食品基準庁（FSS）は、ヒマワリ油を含むと表示された食品の一部において、代わりに精製菜種油が含まれている可能性があることを消費者に通知した。英国のヒマワリ油の大半がウクライナ産のため、国内の食品事業者から、ウクライナ紛争の影響でヒマワリ油の供給が数週間でなくなる可能性があるとの報告を受けている。この状況を受け、FSA と FSS は、ヒマワリ油の精製菜種油への代替に関する迅速リスク評価を発表した

**＊ポイント：** FSA/FSS と同じく、原料の調達が難しくなったことによる食品の組成や製造工程の変更に関連した記事がアイルランド食品安全局（FSAI）やフィンランド食品局でも公表されています。緊急措置として、代替原料を使用した製品については暫定的にラベル表示の規制緩和を行いつつ、代替原料を使うことによる最大のリスク因子として、アレルゲンや不耐症の原因となる成分の含有については必ず表示するよう事業者に注意を呼びかけています。

**【BfR】 ワイルドガーリック：「ドッペルゲンガー」は中毒をおこすことがある**

ラムソンとしても知られるネギ属のワイルドガーリックは、春になると小さな球根から緑色の披針形の双葉を出し、それが料理に使われる。ドイツ連邦リスクアセスメント研究所の Andreas Hensel 長官は「スズランやイヌサフランなどの有毒な『ドッペルゲンガー（見た目がそっくりなもの）』がワイルドガーリックとよく間違われる」として注意を呼び掛ける。BfR の知見によると、それらの誤認により毎シーズン中毒が発生し、場合によっては致死的となる。ドイツのほか、オーストリア、スイス、クロアチアなどでも、特に4 月と 5 月に頻発している。

**＊ポイント：** 春になると食用にできる植物と有毒植物の誤認による食中毒の発生が問題になるのは、万国共通のようです。イヌサフランはネギ属の野生植物と間違えやすく、中毒症状が重篤化することも多いので特に注意が必要です。日本ではギョウジャニンニクと間違えることが多いので、採る時には 1 本ずつ確認するようにしましょう。そして、食べられると確実に判断できない植物は、採らない、食べないこと、直売所などで売らないこと、そして知人や親戚にもあげないようにしましょう。

**【MFDS】 生活中の「有害物質統合リスク評価」の結果発表**

韓国の食品医薬品安全処（MFDS）、食品医薬品安全評価院は、日常生活で人体に影響を及ぼす可能性があるパーフルオロ化合物やホルムアルデヒドなど合計 13 種の化学物質に対する「統合リスク評価」を実施した。これは、食品だけでなく、化粧品や生活用品などの多様な製品と環境も含めた、実生活のあらゆる経路による暴露量を総合的に評価したものである。その結果、国民の体内総暴露量は有害影響の懸念がないレベルであることを確認した

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第857回）の開催について　2022/4/28　多分一回休みです**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年5月日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、5月日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、5月日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***加熱と調理「ハンバーグ編」　2022/4/27**

<https://www.youtube.com/watch?v=57RKgz22RNs>

**■食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集について　2022/4/20**

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_biseibutu-virus_shishin2022_040420.html>

　令和４年４月２０日から令和４年５月１９日までの間、意見・情報の募集を行います

**■加熱と調理「トンカツ編」　2022/4/15**

<https://www.youtube.com/watch?v=J1Yl0n-Z08E>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年3月12日から令和4年3月25日）2022/4/6**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=3&from_day=12&to=struct&to_year=2022&to_month=3&to_day=25&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\shokkakyo\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***我が国初の「輸出支援プラットフォーム」米国で本日設立！　2022/4/27**

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/220427.html>

**～在外公館、ジェトロ等の関係機関が一体で輸出事業者を専門的・継続的に支援～**

輸出先国・地域において、輸出事業者を専門的かつ継続的に支援する「輸出支援プラットフォーム」が初めて、米国のロサンゼルスとニューヨークで発足し、本日（米国西部時間4月26日、日本時間27日）、ロサンゼルスにおいて立ち上げ式が開催されました。在外公館、ジェトロ海外事務所等を主な構成員とする輸出支援プラットフォームでは、現地法人、日本食レストラン等と協議会を設置し、輸出事業者等を専門的かつ継続的に支援していきます。

　1.背景

2021年に我が国の農林水産物・食品の輸出額は1兆円を超えましたが、2025年2兆円、2030年5兆円の目標達成に向け、輸出先国・地域における農林水産物・食品の輸出促進体制の体制強化が課題となっています。

このため、農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略（農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議、令和3年12月改訂）において、輸出支援プラットフォームを形成し輸出事業者を支援していくことが明記され、まずは2023年度までに米国、EU、タイ等の8カ国・地域において輸出支援プラットフォームを立ち上げることとされました。

2.輸出支援プラットフォームのポイント

輸出支援プラットフォーム(注)では、輸出先国・地域の在外公館やジェトロ海外事務所等が主要な構成員として連携するとともに、現地事情に精通した人材をローカルスタッフとして活用し輸出事業者等を支援する体制を整備します。

具体的には、以下のような活動を想定しています。

（1）カントリーレポートの作成

（2）新たな商流の開拓

（3）現地に販売、製造拠点を置く現地法人支援

（4）現地日本食レストラン等を活用し日本食普及

輸出支援プラットフォームは、現地の日本食品関連事業者・日本食レストラン事業者及びその団体と輸出支援プラットフォーム協議会を作り、官民一体となって日本の農林水産物・食品の輸出促進及び日本食の普及に取り組んでまいります。

（注）令和4年度予算及び令和3年度補正予算において支援します。

3. 米国輸出支援プラットフォーム立ち上げ式概要

立ち上げ式では、米国の輸出支援プラットフォームの発足と協議会の設置、当面の活動が発表されるとともに、現地の日本産食品関連団体とジェトロ・ロサンゼルス事務所が「日本食普及拡大のための覚書」への署名を行い、輸出を後押しするため、官民一丸となって日本食普及に取り組んでいくことを確認しました。

ジャパン・ハウスで行われた立ち上げ式には、杉中農林水産省大臣官房輸出促進審議官、武藤在ロサンゼルス日本国総領事、仙台ジェトロ本部理事、瀧ジェトロ・ロサンゼルス事務所長のほか、在ニューヨーク日本国総領事館、ジェトロ・ニューヨーク事務所及び現地の日本産食品関連団体の代表者、食品事業者等が出席しました。

今後、米国に続き、他の主要な輸出先国・地域の重点都市においても輸出支援プラットフォームを順次立ち上げていく予定です。

日本食普及拡大のための覚書

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/attach/pdf/220427-1.pdf>

4.その他

（参考）農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略（農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議、令和3年12月改訂）

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/progress/attach/pdf/index-15.pdf>

添付資料

我が国初の「輸出支援プラットフォーム」設立について

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/attach/pdf/220427-2.pdf>

**■***NEW***カナダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/27**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220427.html>

農林水産省は、4月27日（水曜日）にカナダのニューブランズウィック州からの生きた家きん家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

カナダのニューブランズウィック州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、カナダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

カナダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月27日（水曜日）にニューブランズウィック州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***カナダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220426_7.html>

**農林水産省は、4月25日（月曜日）にカナダのマニトバ州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**カナダのマニトバ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、カナダ家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**カナダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月25日（月曜日）にマニトバ州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。**

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220426_6.html>

**農林水産省は、4月18日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ミシガン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国ミシガン州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月18日（月曜日）にミシガン州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**（参考）生きた家きんは令和4年2月25日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**ミシガン州全域**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内23例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220426.html>

　　本日（4月26日（火曜日））、北海道釧路市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内23例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：北海道釧路市

飼養状況：約100羽（だちょう（エミュー））

2.経緯

（1）昨日（4月25日（月曜日））、北海道は、釧路市の農場から、飼養家きんの死亡がみられるとの通報を受けて、農場への立入検査を実施し、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（2）本日（4月26日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/25**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220425.html>

**農林水産省は、4月25日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ノースダコタ州、モンタナ州及びアイダホ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国ノースダコタ州、モンタナ州及びアイダホ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月25日（月曜日）にノースダコタ州、モンタナ州及びアイダホ州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**（参考）生きた家きんについては、ノースダコタ州は令和4年4月1日以降、モンタナ州は令和4年4月11日以降、アイダホ州は令和4年4月19日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**ノースダコタ州レンビル郡及びリッチランド郡、モンタナ州グレイシャー郡並びにアイダホ州マディソン郡（発生郡）**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***群馬県における豚熱の確認（国内80例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/22**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220422_4.html>

　　本日、群馬県太田市の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け農林水産省は本日、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の防疫方針について決定します。

現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：群馬県太田市

飼養状況：約3,000頭

2.経緯

（1）昨日（4月21日（木曜日））、群馬県は、同県太田市の農場から、異状がみられる子豚がいる旨の通報を受け、病性鑑定を実施しました。

（2）群馬県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（4月22日（金曜日））、豚熱の患畜であることが判明しました

**■***NEW***ベルギーからの家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について　2022/4/22**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220422.html>

　農林水産省は、今般、ベルギーの一部州における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、当該州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

ベルギーの家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから令和3年9月以降、同国からの家きん肉等について輸入を一時停止していました。

2.対応

今般、ベルギー家畜衛生当局から我が国に提供された鳥インフルエンザの防疫措置等の情報により、一部州（※1）の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、本日付けで当該一時輸入停止措置（※2）を解除しました。

※1：アントワープ州、エノー州、ナミュール州、ブラバン・ワロン州、フレミッシュ・ブラバント州、リエージュ州、リュクサンブール州

※2：発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/22**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220422_3.html>

　農林水産省は、4月22日（金曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ウィスコンシン州及びコロラド州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ウィスコンシン州及びコロラド州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月22日（金曜日）にウィスコンシン州及びコロラド州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

（参考）生きた家きんについては、ウィスコンシン州は令和4年3月16日以降、コロラド州は令和4年4月11日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ウィスコンシン州シボイガン郡、コロンビア郡及びポーク郡並びにコロラド州ラプラタ郡及びモントローズ郡（発生郡）

**■フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220421_3.html>

**農林水産省は、4月9日（土曜日）にフランスのオート・ヴィエンヌ県からの、4月13日（水曜日）にサルト県からの、4月21日（木曜日）にアヴェロン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**フランスのオート・ヴィエンヌ県、サルト県及びアヴェロン県の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月9日（土曜日）にオート・ヴィエンヌ県からの、令和4年4月13日（水曜日）にサルト県からの、令和4年4月21日（木曜日）にアヴェロン県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■ブルガリアからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/4/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220421_2.html>

　　農林水産省は、4月21日（木曜日）にブルガリアのブルガス州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ブルガリアのブルガス州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、ブルガリア家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月21日（木曜日）にブルガス州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

　これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■秋田県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内22例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220421.html>

　　秋田県大仙市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内22例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）秋田県大仙市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内22例目、4月19日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内20例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_2.html>

　　北海道白老町（しらおいちょう）で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内20例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）北海道白老町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内20例目、4月16日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内21例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_1.html>

　　北海道網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内21例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）北海道網走市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内21例目、4月16日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査

**■青森県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内19例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_3.html>

　　青森県横浜町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内19例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）青森県横浜町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内19例目、4月15日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■宮城県石巻市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内17例目）に係る移動制限の解除について　2022/4/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220419_3.html>

　　宮城県は、同県石巻市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内17例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年4月19日（火曜日）午前0時（4月18日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）宮城県は、同県石巻市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内17例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）宮城県は、同県石巻市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年4月8日（金曜日）午前0時（4月7日（木曜日）24時）に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、宮城県は、国内17例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年3月28日の翌日から起算して21日が経過する令和4年4月19日（火曜日）午前0時（4月18日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■秋田県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内22例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220419.html>

　　本日（4月19日（火曜日））、秋田県大仙市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内22例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：秋田県大仙市

飼養状況：約400羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（4月18日（月曜日））、秋田県は、同県大仙市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明しました。

（3）本日（4月19日（火曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内21例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/4/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220416_6.html>

　　本日（4月16日（土曜日））、北海道網走市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内21例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：北海道網走市

飼養状況：約500羽（だちょう（エミュー））、約100羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）本日（4月16日（土曜日））未明、北海道は、網走市の農場から、だちょう（エミュー）の死亡羽数が増加しているとの通報を受けて、農場への立入検査を実施し、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（2）本日（4月16日（土曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内20例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について　2022/4/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220416.html>

　本日、北海道白老町（しらおいちょう）の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内20例目）されました。

これを受け、農林水産省は、本日10時40分から、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：北海道白老町

飼養状況：採卵鶏（約52万羽）

2.経緯

（1）昨日（4月15日（金曜日））、北海道は、白老町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明しました。

（3）本日（4月16日（土曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***魚介類の名称のガイドライン一部改正案等に関する意見募集について　2022/4/27**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028551/>

**詳細**

**1. 意見募集の対象**

**魚介類の名称のガイドライン一部改正案**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=235080065&Mode=0>

**2 意見募集の趣旨**

**「食品表示基準Q&A」(平成27年3月30日付け消食表第140号)の別添「魚介類の名称のガイドライン」については、新たな魚介類の輸入・流通の拡大、分類学的研究の進展による名称の変更など、魚介類の名称を巡る状況が変化していることを受け、令和3年度に、魚介類のうち甲殻類について改正に向けた検討を行いました。**

**この検討結果を踏まえ、消費者庁では、所要の改正を行うため、「魚介類の名称のガイドライン一部改正案」を作成いたしました(本案の詳細は別添資料を御参照ください。)。**

**つきましては、下記の要領にて広く国民の皆様の御意見を募集いたします。お寄せいただいた御意見につきましては、内容を検討の上、本案作成の参考とさせていただきます。**

**3 意見募集期間　令和4年4月27日(水)から同年5月26日(木)まで(郵送の場合は同日必着)**

**4 意見の提出方法**

**以下の事項を記載し、次に掲げるいずれかの方法により提出してください。なお、電話での受付はできませんので御了承ください。**

**【1】氏名(法人その他の団体にあっては名称/部署名等)**

**【2】職業(法人その他の団体にあっては業種)[任意]**

**【3】住所**

**【4】電話番号**

**【5】電子メールアドレス(お持ちの場合)**

**【6】御意見及びその理由(表題及び御意見を御記入ください。)**

**\* 御意見が600字を超える場合、その内容の要旨を添付してくださいますようお願いいたします。**

**\* FAX又は郵送で御提出の場合、別途様式を用意しておりますが、【1】～【6】の項目が記載されていれば、他の様式を用いての御提出も可能です。**

**(1)電子メールの場合**

**E-mail:i.shokuhin6@caa.go.jp宛て**

**\* 電子メール件名を「魚介類の名称のガイドライン一部改正案について」としてください。**

**(2)FAXの場合**

**FAX番号:03-3507-9292 消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て**

**\* 表題を「魚介類の名称のガイドライン一部改正案について」としてください。**

**(3)郵送の場合**

**〒100-8958**

**東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館6階**

**消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て**

**\* 封筒表面に「魚介類の名称のガイドライン一部改正案について」と朱書きしてください。**

**5 注意事項**

**○ お寄せいただいた御意見に対する個別の回答は致しかねますので、その旨御了承願います。**

**○ 御意見については、提出者の氏名や住所等、個人を特定できる情報を除き、そのまま公表させていただく場合もありますので、その旨御了承願います。**

**○ 御記入いただいた氏名、住所、電話番号及び電子メールアドレスは、御提出いただいた御意見の内容に不明な点があった場合等の連絡のために利用します。**

**○ 電子メールでの御意見は、テキスト形式の電子メールによる御意見だけを受理します。セキュリティ上、添付ファイルやURLへのリンクにより提出された御意見は受理しかねますので、その旨御了承願います。**

**公表資料**

**魚介類の名称のガイドライン一部改正案等に関する意見募集について**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/food_labeling_cms202_20220427_04.pdf>

問合せ先

消費者庁食品表示企画課

内村、横内

電話番号 03-3507-9223(直通)

FAX番号 03-3507-9292

**■***NEW***インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等に関する意見募集について　2022/4/27**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028502/>

　　消費者庁では、「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブックガイドブック案」及び「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック(別冊)食品表示情報の入手方法と管理方法案」を作成いたしました(本案の詳細は別添資料を御参照ください。)。つきましては、下記のとおり、広く国民の皆様の御意見を募集いたします。お寄せいただいた御意見につきましては、内容を検討の上、本案作成の参考とさせていただきます。

詳細

1 意見募集の対象

インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック(案)

インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック(別冊)食品表示情報の入手方法と管理方法(案)

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=235080064&Mode=0>

2 ガイドブック案の概要

消費者庁では、令和3年度に「インターネット販売における食品表示の実態調査及び検討事業」を実施し、消費者の意向及び事業者の取組の実態を把握するとともに、食品表示、ECサイトの実態、消費者の購買行動について知見を有する学識経験者、ECサイトプラットフォーマー、食品関連事業者、消費者、業界関係者等の委員で構成される検討会において事業者向けのインターネット販売における食品表示を行うための手引の策定に向けた議論を行ってまいりました。調査事業の結果を踏まえ、インターネット上でどのような食品表示情報をどのような方法で、どの程度提供すればよいか、その考え方や効用を説明したガイドブック案並びにECサイト上で食品表示の情報提供を行うための情報入手方法及び管理方法の具体的な取組事例について提示した別冊案を作成いたしました。

3 意見募集期間

令和4年4月27日(水)から同年5月26日(木)まで(郵送の場合は同日必着)

4 意見の提出方法

以下の事項を記載し、次に掲げるいずれかの方法により提出してください。なお、電話での受付はできませんので御了承ください。

【1】氏名(法人その他の団体にあっては名称/部署名等)

【2】職業(法人その他の団体にあっては業種)[任意]

【3】住所

【4】電話番号

【5】電子メールアドレス(お持ちの場合)

【6】御意見及びその理由(表題及び御意見を御記入ください。)

\* 御意見が600字を超える場合、その内容の要旨を添付してくださいますようお願いいたします。

\* FAX又は郵送で御提出の場合、別途様式を用意しておりますが、【1】～【6】の項目が記載されていれば、他の様式を用いての御提出も可能です。

(1)電子メールの場合　E-mail:i.shokuhin6@caa.go.jp　宛て

\* 電子メール件名を「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等について」としてください。

(2)FAXの場合　FAX番号:03-3507-9292 消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て

\* 表題を「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等について」としてください。

(3)郵送の場合

〒100-8958

東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館6階

消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て

\* 封筒表面に「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等」と朱書きしてください。

5 注意事項

○ お寄せいただいた御意見に対する個別の回答は致しかねますので、その旨御了承願います。

○ 御意見については、提出者の氏名や住所等、個人を特定できる情報を除き、そのまま公表させていただく場合もありますので、その旨御了承願います。

○ 御記入いただいた氏名、住所、電話番号及び電子メールアドレスは、御提出いただいた御意見の内容に不明な点があった場合等の連絡のために利用します。

○ 電子メールでの御意見は、テキスト形式の電子メールによる御意見だけを受理します。セキュリティ上、添付ファイルやURLへのリンクにより提出された御意見は受理しかねますので、その旨御了承願います。

公表資料

インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等に関する意見募集について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/food_labeling_cms202_220427_01.pdf>

問合せ先

消費者庁食品表示企画課

内村、松原

電話番号 03-3507-9223

FAX番号 03-3507-9292

**■***NEW***(スマートフォン向け)食物アレルギーコミュニケーションシートについて　2022/4/27**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/information/pamphlets/#generally](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/pamphlets/%23generally)

**■大幸薬品株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/4/15**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028385/>

　　消費者庁は、本日、大幸薬品株式会社に対し、同社が供給する「クレベリン 置き型 60g」と称する商品及び「クレベリン 置き型 150g」と称する商品に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

大幸薬品株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220415_1.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★ファミリーマート「「チリドッグ」」 - 返金／回収　具材のソースに異物が混入している可能性があることが判明　2022/4/27**

**★山久「厚揚げ 5個入」 - 交換／回収　消費期限の誤表示（誤：22.5.27、正：22.4.27）　2022/4/27**

**★山栄製麺所「瀬戸焼そばの素」 - 返金／回収　無許可製造　2022/4/26**

**★ツルヤ「ルヴァンスティック」 - 返金／回収　消費期限の表示欠落（本来の消費期限：2022.04.26）　2022/4/26**

**★髙嶋工業「博多とんこつばり 2食入りラーメン」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：22.5.25、正：22.4.25）　2022/4/26**

**★スーパーナショナル（築港店）「そのままパクッと食べられるゆでたまご」 - 返金／回収　常温で販売したため腐敗変敗のおそれ　2022/4/26**

**★西洋菓子鹿鳴館「クローバーパイいちご」 - 回収　アレルゲン「大豆」の表示欠落　2022/4/26**

**★オギノパン「メガ給食バターロール」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落、原材料添加物および食品成分の誤表示　2022/4/26**

**★綿半パートナーズ（フレッシュマーケット西成店） 「豚ねぎま串 冷凍」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2022/4/25**

**★綿半パートナーズ（フレッシュマーケット平島店） 「豚ねぎま串 冷凍」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2022/4/25**

**★イベリア貿易「マンサニージャはちみつ入り」 - 返金／回収　甘味料アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）の表示欠落　2022/4/25**

**★神戸物産「あじフライ」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（印字の『日』と『月』を逆に印字してしまったため）　2022/4/25**

**★KALIBER「KOSKAチョコレートコーティングローズフレーバーターキッシュディライト」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2022/4/22**

**★九州コーケン「hecari CBD OIL NATURAL」 - 返金／回収　製造許可範囲外で生産　2022/4/22**

**★アパッペ「四川花山椒と干しエビ craft curry can」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2022/4/22**

**★アパッペ「ブラックマスタードとアワビ茸 craft curry can」 - 返金／回収　アレルゲン「醤油（小麦を含む）」の表示欠落　2022/4/22**

**★アパッペ「馬告キーマ craft curry can」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2022/4/22**

**★アパッペ「ラムとクミンのガパオ craft curry can」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2022/4/22**

**★カネスエ「ししとう（韓国産）」 - 返金／回収　テトラコナゾールが基準値（0.3ppm）を超る値を検出（0.8ppm）　2022/4/22**

**★ゼストクック「巻きもの、丼もの、握りずしのネタ」 - 返金／回収　魚肉に対する食用赤色102号の使用、消費期限超過　2022/4/21**

**★巴裡「焼き菓子：物語大、物語中、物語小」 - 返金／回収　アレルゲン「くるみ、大豆」の表示欠落　2022/4/21**

**★山万加島屋商店（ニチエー全店）「ニチエー 手詰め十二割糀味噌」 - 返金／回収　製造者の住所の記載漏れ　2022/4/21**

**★イオン「トップバリュ 国産鶏肉使用サラダチキンスライス（むね肉・ハーブ）」 - 返金／回収　「国産鶏肉使用サラダチキンスライス（むね肉・プレーン）」の商品の一部において、誤って「国産鶏肉使用サラダチキンスライス（むね肉・ハーブ）」の包材を使用していることが判明　2022/4/21**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■食中毒が発生しました　発表日：2022年4月27日　福岡県久留米市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20220427.html>

　１　事件の探知

　　　令和４年４月２２日（金）、久留米市の住民から、朝倉郡内の食肉販売店で購入した鶏のタタキを自宅等で喫食したところ、食中毒様症状を呈している者が複数いる旨、久留米市保健所に連絡があったため、本県に対し、調査依頼があった。

２　概要

　　　北筑後保健福祉環境事務所は、疫学調査及び有症者便等の検査の結果から、本件を食中毒と断定した。

３　発生日時　令和４年４月１５日（金）１９時頃（初発）

４　摂食者数　１１名（４グループ）

５　症状　下痢、腹痛、発熱等

６　有症者数　７名（男性３名、女性４名）うち、３名が医療機関を受診している。

なお、有症者については、全員快方に向かっている。

テーブル

自動的に生成された説明

　７　原因施設、原因食品、病因物質

(1)原因施設　 屋　号：かしわかしわ専門店せんもんてんサトーさとー

　 業　種：食肉販売業

(2)原因食品　４月14日に販売した鶏のタタキ

(3)病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

８　検査　有症者便からカンピロバクター・ジェジュニを検出した。

９　措置　営業停止：２日間（４月27日～28日）

１０　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（４月２７日現在。調査中の事件を除く。）

電車, 跡, 光, 座る が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■食中毒事件の発生について　2022/4/27　徳島県徳島市**

**カンピロバクター**

<https://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2022042700029/>

　県内で発生した食中毒事件について、次のとおりお知らせします。

1　原因施設の喫食者数および有症者数

　　　4月17日（日）の利用者：32名

　　　有症者：9名（1グループ、19～26歳）

2　主症状　発熱、下痢等（入院者1名（すでに退院））

3　原因施設

　　　名　称　　焼肉ホルモン酒場　けんちゃん

4　原因食品　原因施設が4月17日（日)に提供した食事

5　原因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

6　当該施設が提供したメニュー

　キムチとナムルの盛合せ、焼肉屋さんの低温調理(牛タン刺身、鶏レバー）、牛・豚ホルモン盛合せ、選べる焼きしゃぶ、焼き野菜盛合せ、黒毛和牛あぶり肉寿司　等

7　その他 （注意喚起）

（1）カンピロバクターは食鶏等の腸管内に生息し、令和3年における全国の食中毒の発生件数「第2位」となっています。　（154件、患者764名）

（2）現在の食鳥処理の技術では、カンピロバクター等の食中毒菌を全て除去することは困難とされているため、加熱不十分な鶏肉を喫食すると、鮮度に関係なく、食中毒になるリスクがあります。

　（3）食中毒予防の観点から、鶏肉（内臓を含む）は中心部まで十分加熱してください。また、生や加熱不十分なものを食べないでください。

　（4）二次汚染を防ぐため、調理器具は熱湯消毒を行い、よく乾燥させてください。また、生肉と他の食品の接触は避けるようにしてください。

**■食品衛生法違反者等の公表　2022/4/27　港区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.minato.tokyo.jp/shokuhinkanshi1/kurashi/shokuhin/anzen/kyoka.html>

　公表年月日　令和4年4月27日

業種等　飲食店営業

施設の名称　酒場ブラジル虎ノ門駅改札口店

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

原因食品　令和4年4月12日に提供された食事(鶏肉料理を含む)

原因物質　カンピロバクター

主な適用条項　食品衛生法第6条第3号の規定に違反するので同法第60条第1項を適用

不利益処分等の内容　令和4年4月27日から令和4年5月3日（7日間）の営業停止命令

備考　公表時の患者数：8名

カンピロバクターは、主に鶏、豚、牛などの腸管に分布しています。食品や飲料水をとおしてヒトの体内に入ると腸管内で増殖し、感染後1日から7日位の潜伏期間の後、腹痛・下痢・発熱等の症状があらわれます。主な原因食品としては生の食肉、レバ刺し、加熱不十分の食肉や二次汚染を受けたサラダ等です。

**■熊本市の飲食店、男性3人食中毒　カンピロバクター　熊本県熊本市**

**熊本日日新聞 | 2022年04月27日 10:23**

**カンピロバクター**

<https://kumanichi.com/articles/638014>

**熊本市内の飲食店での食中毒発生に伴う営業停止処分について**

本日、食中毒発生に伴い飲食店への営業停止処分を行いましたので、お知らせします。

１ 概要

（１）探知

令和４年（2022 年）４月１９日（火）２０時、熊本市内在住の方から「４月１０日（日）に熊本市内の飲食店を５名で利用し、３名が体調異常を呈している。」との連絡がありました。

（２）調査

当該グループは職場の同僚５名で、４月１０日（日）１７時頃から当該飲食店で食事をしており、４月１２日（火）から４月１３日（水）にかけて３名が発熱、腹痛、下痢などの症状を訴え、３名とも医療機関を受診し、そのうち１名から医療機関の検便検査でカンピロバクターが検出されていることが判明しました。

（３）決定

有症者３名の共通食は、当該飲食店での食事のみであり、また、有症者の検便検査結果、有症者の喫食状況や発症状況、当該飲食店での調理状況から、この飲食店の食事を原因とする食中毒と断定し、この飲食店に対して営業停止を命じました。

２ 有症者の状況

（１）発症日時 令和４年（2022 年）４月１２日（火）２０時（初発）

（２）主な症状 発熱、腹痛、下痢

（３）喫食者数 ５名

（４）有症者数 ３名 内訳：男性３名（年齢２０歳～２４歳）

（５）その他 医療機関受診者３名（入院者０名）

有症者は快方に向かっています。

３ 原因食品 ４月１０日（日）に当該飲食店で提供された食事（１７時頃喫食）

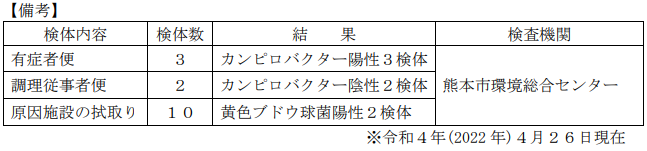
４ 病因物質 カンピロバクター・ジェジュニ

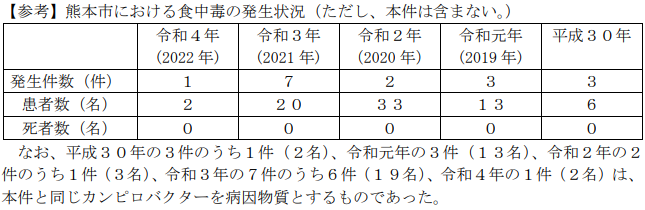
５ 原因施設

（１）名称（屋号・商号） 焼鳥いずみ

（２）業種 飲食店営業（一般食堂）

６ 措置等

営業停止 令和４年（2022 年）４月２６日（火）から４月２７日（水）までの２日間



**■食中毒（疑い）が発生しました　2022/4/23　福岡県久留米市**

**調査中**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20220422.html>

　１　事件の探知

　　令和４年４月２２日（金）、久留米市の住民から、朝倉郡内の食肉販売店で購入した鶏のタタキを自宅等で喫食したところ、食中毒様症状を呈している者が複数いる旨、久留米市保健所に連絡があったため、本県に対し、調査依頼があった。

２　概要

　　同保健所が調査したところ、３グループ８名のうち４名が腹痛、下痢、発熱等の症状を呈していることが判明した。また、同様の症状を呈している者が福岡県北筑後保健福祉環境事務所管内にいるとの情報を聴取したため、福岡県北筑後保健福祉環境事務所が調査したところ、１グループ３名のうち１名が同様の症状を呈していることが判明した。

現在、通報のあった久留米市保健所並びに福岡県北筑後保健福祉環境事務所において、食中毒と感染症の両面から調査を進めている。

３　発生日時　調査中　判明分：令和４年４月１６日（土）１６時頃（初発）

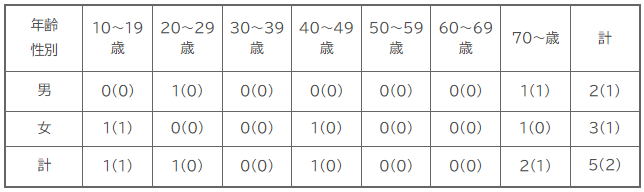
４　摂食者数　調査中　判明分：１１名（４グループ）

５　症状　調査中　判明分：腹痛、下痢、発熱等

６　有症者数　調査中　判明分：５名（男性２名、女性３名）

　　　うち、２名が医療機関を受診しているが、入院した者はいない。

　　　なお、有症者については、全員快方に向かっている。



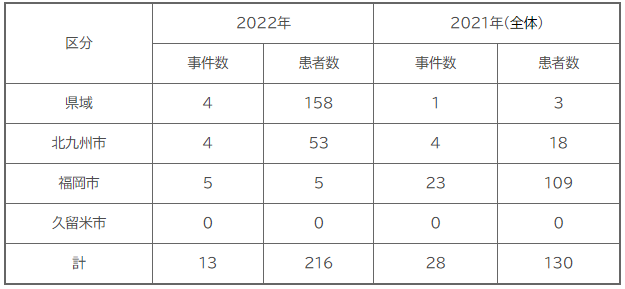
　()内は、受診者数

７　原因施設、原因食品、病因物質　調査中

８　検査

　久留米市衛生検査センター及び福岡県保健環境研究所等有症者、従事者便等を検査予定

９　その他　〈参考〉県下における食中毒の発生状況（４月２２日現在。調査中の事件を除く。）



**■４７人搬送４人が重症　税務大学校で集団食中毒か　大阪・枚方市**

**4/22(金) 23:31配信　ABCニュース**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c4ed46066c4724b93cefbbcdece9fd946bceeda2>

**税務大学校で集団食中毒か、大阪　33人症状訴え　大阪府枚方市**

**4/23(土) 0:38配信　共同通信**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8adc9df859b6f763487c4033a258a8d473907698>

**搬送者４７人と修正　税務大学校で集団食中毒か　大阪府枚方市**

**4/23(土) 2:13配信　産経新聞**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/89823e7c094fce63905be0564011dfa655e5fcbc>

**■食品衛生法に基づく行政処分（食中毒）について　2022/4/19　名古屋市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000152261.html>

　公表年月日：令和4年4月19日

処分年月日：令和4年4月19日

業種：飲食店営業

施設の名称：三菱自動車工業いりなか寮

行政処分の理由：食品衛生法第6条第3号違反（食中毒）

行政処分の適用条項：食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条第1項の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合における、食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）第55条第1項

行政処分の内容及び措置状況：飲食店営業の禁止

原因食品：4月12日夜に提供された食事（ポークカレー、福神漬、シーザーサラダ、レアチーズケーキ風デザート　等）

病因物質：ウェルシュ菌

患者数：23名

**★ウイルスによる食中毒★**

**■**

**★寄生虫による食中毒★**

**■店で“刺身の盛り合わせ”食べ…50代女性が腹痛や吐き気『アニサキス』検出 飲食店を営業停止に　4/27(水) 20:35配信　石川テレビ　石川県七尾市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8492450e6bb8976e5a0cc256d49d49e016f9b3c4>

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2022/4/26　江戸川区**

**アニサキス**

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/documents/8048/bessi1.pdf>

公表年月日　令和４年４月 26 日

業種等　飲食店営業（※注１）

施設名称 魚たも北口仲通り店

主な適用条項　食品衛生法第６条違反による、同法第 55 条第１項（※注２）の適用

不利益処分等を行った理由　食中毒の発生

不利益処分等の内容　営業の一部停止（１日間）

一部停止となる営業の内容生食用鮮魚介類（冷凍品を除く。）の調理、提供。

なお、冷凍品とは－20℃以下で 24 時間以上の冷凍をしたものをいう。

食中毒の原因　アニサキス

原因となった食品　令和４年４月 11 日に当該施設が調理提供した刺身

備考 患者数 １名

（※注１）令和元年政令 123 号の附則の第２条の規定により、なお従前の例による営業

（※注２）平成 30 年法律第 46 号の第２条の規定による改正前の食品衛生法

**★自然毒による食中毒★**

**■食中毒の発生について（令和4年4月7日）　兵庫県姫路市**

**佐藤先生からいただいた情報です**

**公開日：2022年4月7日更新日：2022年4月9日ID:20713**

**動物性自然毒　ふぐ**

<https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000020713.html>

資料提供日　令和4年4月7日（木曜日）

問い合わせ先　担当課　姫路市保健所衛生課　担当者　今井、鬼塚

電話番号　079-289-1633

概要

令和4年4月4日（月曜日）に、姫路市保健所に対して姫路市内の医療機関からふぐによる食中毒を疑う患者を診察したとの通報があり探知した。

調査の結果、友人同士が鳥取沖で体長約30センチのふぐ1匹を釣り上げ、ふぐ処理者がマフグと判断したことから、筋肉及び精巣（しらこ）を6名で喫食したところ、うち1名が約30分後から手足の痺れ等の神経症状を呈し、医療機関に搬送されたことが判明した。

喫食内容及び症状の状況と、診察した医師からふぐ毒による食中毒との届出があったことから、本件をふぐによる食中毒と断定した。

　探知　令和4年4月4日（月曜日）午後2時頃

喫食日時　令和4年4月3日（日曜日）午後9時頃

初発年月日　令和4年4月3日（日曜日）午後9時30分頃

喫食者数　6名

有症者数　1名（10代）

主な症状　神経症状（手足の痺れ等）

原因食品　ふぐ（魚種不明）

病因物質　動物性自然毒（テトロドトキシン）（推定）

有症者の現況　入院中であるが症状は軽減し、快方に向かっている

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■倉吉のこども園でノロ　2022/4/24 04:00　 山陰中央新報ニュース**

**感染症　ノロウイルス　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/197940>

**■湯梨浜のこども園でノロ　2022/4/20 04:00　山陰中央新報デジタル**

**感染症　ノロウイルス　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/195938>

**★その他の感染症★**

**■マダニによる日本紅斑熱か　高齢者３人が治療【熊本】**

**4/27(水) 19:02配信　TKUテレビ熊本**

**感染症　マダニ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b74c956f29afd11f19efdf4ee24219ab4057f877>

**★違反食品★**

**■ネギトロ使用直営店舗加工品 一部食用赤色102号 魚肉に使用**

**掲載日： 2022年04月20日　フーズチャンネル　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www.foods-ch.com/anzen/kt_43028/>

**★その他関連ニュース★**

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が3週連続増加 - 手足口病も2週連続増、プール熱は横ばい**

**4/26(火) 13:45配信**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e0a9a5bf13f471f9d92054f60d431ba7245af9b8>